

星のたより

2024(令和6)年
3月号
Vol. 354

☆今月の豆知識☆
⑦ うしゅんを告げるものにフキノトウとか、梅の花とかがあるよね。さじアストロパークは標高が少し高いから春の訪れは遅いけど、星空での春の訪れは変わらないよね。北斗七星やしし座が姿を表わしたりすると、春の訪れを感じるね。明け方さそり座が見えるようになって、春だ!という気分だよ。



第30回星景写真コンテスト入賞作品展

星と風景がいっしょに写った「星景写真」のコンテストをおこない、日本各地から97点の応募がありました。審査の結果、第30回を記念した最優秀作品の「第30回記念賞(右写真)」をはじめ15点の入賞作品が決まり、3月20日(水・祝)から佐治天文台館内に展示します。素晴らしい作品をぜひご覧ください。



日時：3月20日(水・祝)～7月15日(月・祝)
観覧料：入館料のみ。一般(高校生以上)300円、中学生以下無料

「第29回雪まつり」で雪満喫! ～雪像づくりで「宇宙生物」出現～

暖冬で積雪が心配されましたが、20cm弱の積雪があり予定通り2月11日・12日の2日間、雪まつりが開催されました。毎年恒例の雪像づくり。今年のテーマは「宇宙生物」でした。アイデアたっぷりの宇宙生物が出現し、雪まつり会場を盛り上げました。



イベント★耳より情報 ☆内容や日程が変更となる場合があります。公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「アストロ宇宙写真展」12月13日(水)～2024年3月17日(日)
さじアストロパーク職員が撮影した、星や宇宙の写真を解説付きで展示します。
「第30回星景写真コンテスト入賞作品展」3月20日(水・祝)～7月15日(月・祝)
星と風景がいっしょに写った写真のコンテストで入賞した作品を展示します。

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 テーマ番組「宇宙の疑問にズバリお答え2」
(さじアストロパークオリジナル番組です)
2月21日(水)～7月15日(月・祝)

☆夜間観望会☆ ☆3月のテーマとおすすめ情報

京都産業大学・キャリア実習学生による夜間観望会	2(土)	<p>M35</p>
ふたご座の星の集まり M35	9(土)、30(土)	
月、おおいて座の1等星シリウス	16(土)、23(土)	
観望会で満天の星が楽しめる	1(金)～3(日)、6(水)～10(日)、13(水)、14(木)、28(木)～31(日)	
観望会で月がよく見える	16(土)、17(日)、20(水)、22(金)～24(日)	

☆3月の休館日 4(月)、5(火)、11(月)、12(火)、18(月)、19(火)、21(木)、25(月)、26(火)



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

プラネタリウム & 天体観察会

～ 「星取県」で昼も夜も星空満喫 ～

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。前半のライブトークでは、当日夜に見える星空や季節の星座などを紹介しています。

後半のテーマ番組「宇宙の疑問にズバリお答え2」

さじアストロパークのオリジナル番組「宇宙の疑問にズバリお答え」の好評につき第2弾！今回の番組では、だれでも一度は疑問に思う宇宙のナゾ「星はどれくらい遠くにあるの？」について、ご紹介します。

投影期間：2月21日(水)～7月15日(月・祝)



プラネタリウム・天体観察会
どちらも定員40名で実施中

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」で、見ごろの天体を観察しています。月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。平日及び日曜日のご利用については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



3月の注目天体情報

冬の天体は、星座も、そこに潜んでいる星雲や星団も探しやすいと見どころいっぱいです。

☆ ふたご座と散開星団 M35

「ふたご座」は、12個ある誕生星座の中で最も北寄りにあり、冬の空高くまで昇ります。また見えている期間も長いです。それぞれの兄弟の頭に輝く明るい星から星座の形もたどりやすいです。

ふたご座の足元にある散開星団M35は、肉眼でもその存在がわかります。手軽な双眼鏡や望遠鏡などいろんな見方で楽しめます。夏至の頃、太陽はM35の近くを通過していきます。M35までの距離は2570光年で、およそ120個の星の集まりです。



☆オリオン座と散光星雲 M42

「オリオン座」は、2つの1等星や3つの星が斜めにきれいに並んだ三ツ星があって、星々を線でつなぎやすくとても見つけやすい星座です。冬の代表星座ですが、季節を通しても探しやすさはナンバーワンでしょう。

三ツ星の南にタテに星が並んでいるように見えているところがあります。その真ん中にあるのが散光星雲M42で、オリオン大星雲とも呼ばれます。肉眼でその存在がわかります。M42は星の生まれてくるガス雲で、宇宙空間に広がるその姿は鳥が羽を広げているようです。双眼鏡や望遠鏡などで美しい姿を見ることができます。M42の中心部には、誕生して数十万年ほどの星の集まり「トラペジウム」があって、望遠鏡で確かめることができます。M42までの距離は1344光年です。



宇宙ふしぎ探検

～ いろんな天文ショー ～

天文現象や見ごろの天体をテーマにした特別な観察会「宇宙ふしぎ探検」。めずらしい天文現象などを取り上げて、説明会と観察会をセットにした内容で主に行います。令和6年度に予定している「宇宙ふしぎ探検」をご紹介します。

☆ポンス・ブルックス彗星を見よう 4月6日(土) 19:00~19:50

明るくなると予想される「ポンス・ブルックス彗星」を観察します。彗星はふだんあまり見ることのない天体です。この機会にぜひ見てみましょう。

☆七夕の星を見よう 7月6日(土)、7日(日) 各日 20:00~21:30

七夕に合わせて、おりひめぼし・ひこぼし・天の川を見る観察会です。お願い事を短冊に書いて飾ってみましょう。月齢2~3で月没が21時頃、満天の星と天の川を見るチャンスです。

☆ペルセウス座流星群を見よう 8月11日(日)~13日(火)

各日 21:30~23:00

今年は、月没は12日が22時41分、13日が23時16分で条件はあまりよくありません。雨天曇天時は、流星群の説明や星座の紹介をします。



☆紫金山・アトラス彗星を見よう 10月19日(土) 18:00~20:00

明るくなると予想される「紫金山・アトラス彗星」を観察します。彗星はふだんあまり見ることのない天体です。この機会にぜひ見てみましょう。

☆月をかすめる土星を見よう 12月8日(日) 17:00~19:00

月齢7の月の北部を土星がかすめる現象がおこります。月の高度も40度以上と好条件です。

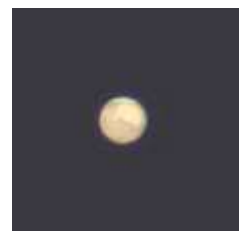
☆ふたご座流星群を観察しよう 12月14日(土) 19:30~21:00

毎年恒例の「ふたご座流星群」を観察します。今年は、月齢13の月があり、条件は良くありません。寒い時期なので、大げさなくらいの防寒着でお越しください。



☆小接近した火星を見よう 2025年1月11日(土)~13日(月・祝) 各日 20:00~20:50

小接近した火星を観察します。最接近は1月12日で、距離は9608万kmです。



☆冬の星座を観察しよう 2025年2月1日(土) 18:30~19:30

見ごろを迎えている冬の星座の見つけ方を学び、実際の星空で探してみましょう。

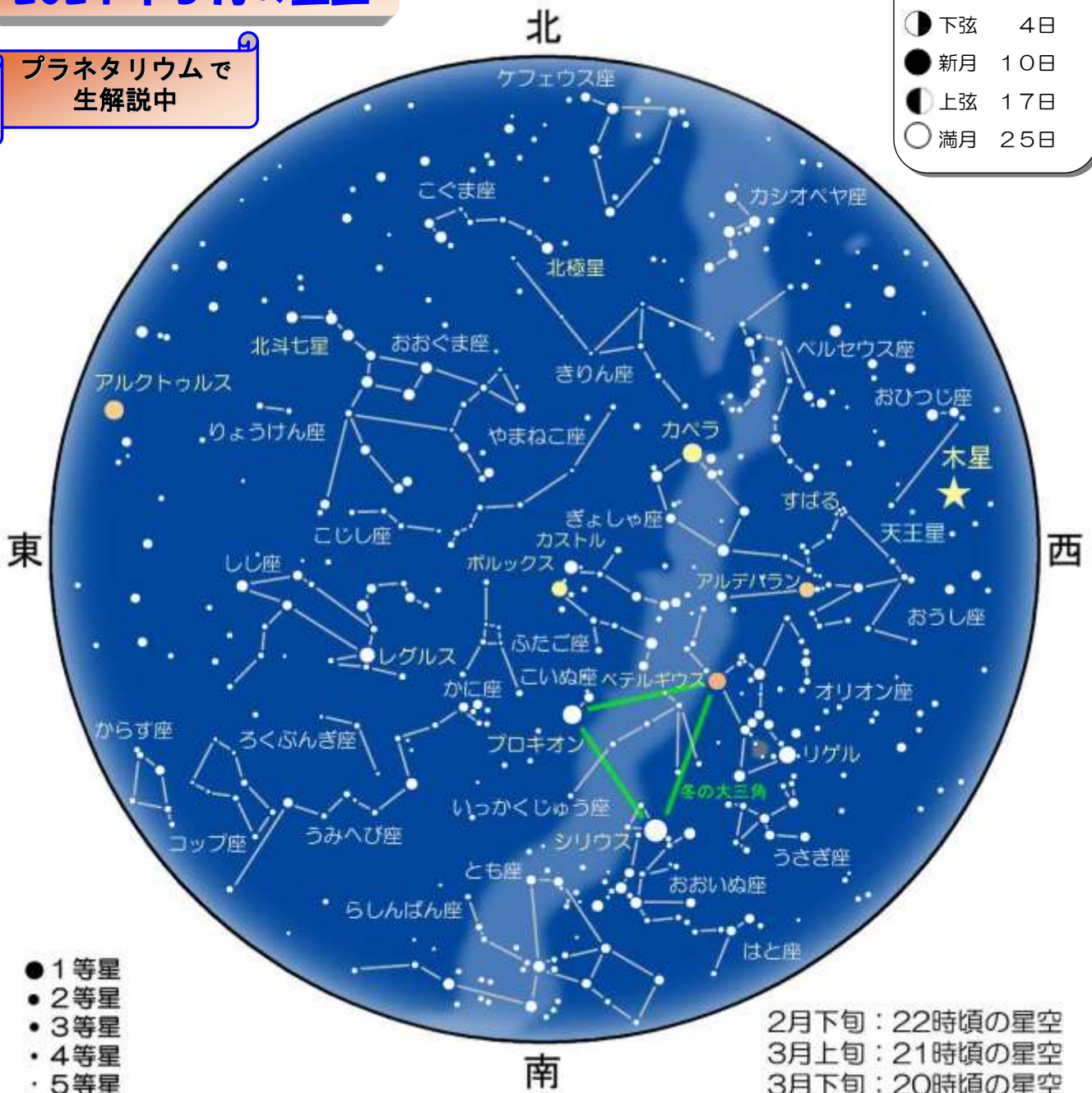
鳥取市こども科学館で行います。雨天曇天時は星の話、そのあとに工作等を行います。

2024年3月の星空

3月の月の暦

- ☾ 下弦 4日
- 新月 10日
- ☽ 上弦 17日
- ☾ 満月 25日

プラネタリウムで
生解説中



☆3月になると暖かい日が増え春の陽気に包まれます。星空も春の星たちが昇ってきて、冬の星たちが西空に追いやられているようです。明るい星が多い冬の星たちから春の星をたどりましょう。

☆南西の空にオリオン座をはじめとする冬の星たちが見えています。明るい星が多いですが西空にやってくると、少し元気がなくなったように感じます。月明かりがないころには、冬の大三角を目印に天の川も探してみましょ。木星はさらに低くなってしまいました。

☆春の星空で最初に昇ってくる1等星は、しし座のレグルスです。冬の大三角やふたご座のポルクスを目印にすると見つけやすいでしょう。レグルスがわかったら、北よりに目をやると北斗七星が見つかります。ひしゃくが元気よく昇ってくるように見えますね。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp